

長崎外国語大学・長崎外国語短期大学だより

WW ぶどうの樹



発行者 長崎学院
 企画・編集 総務課企画広報係
 〒851 2196
 長崎市横尾 3 15 1
 TEL095 840 2000(代)
 FAX095 840 2001
 kikaku@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

「小規模大学の生きる道」

長崎外国語大学 / 長崎外国語短期大学

理事長 藤末文夫



前理事長の辞任を受けて、六月一日付けで理事長に就任いたしました。

学校法人長崎学院の設立から今日六十一周年に至ります経過および建学の精神等につきましては、「ぶどうの樹」創刊号（二〇〇六年二月二〇日発行）に前松本理事長が触れられておりますので、再度書くこともないでしょうし、長崎外国語大学・長崎外国語短期大学の今後の展望につきましては、「ぶどうの樹」第二号（二〇〇七年四月一〇日発行）に池田学長がくわしく書かれておりますので、私から述べることは特にありません。現在大学（短期大学を含む。）の置かれている状況は、テレビ・新聞等でも、よく報道されておりませんが、一八歳人口の極端な減少という社会

現象の中で、相当に厳しいものであることは、よく知られているところであります。

このような状況の中で、特に地方の小規模大学においては、中央の有名大学との格差がますます広がるばかりでありまして、このままでは中央にのみ込まれてしまいそうな感じさえ受けるほどであります。

しかし、中央の大きな大学と違って、私達のような地方の小規模大学にもこの社会現象の荒波にのみ込まれないで、小規模なら小規模だけにしかできない勉学の機会を学生にあたえるチャンスがあるはずだと信じています。

大学は、学生に高度な学問的知識をさずけることは勿論大切なことですが、卒業後社会に送り出して、その社会で立派な社会人として活躍してくれる人材を育成することも大切なことであると信じております。

二トと呼ばれる若者が増加し、せつかく就職しても、自分に合わないとか、こんな

仕事をしてもらえないとかの理由でもって、職につかない若者が何故ふえるのかを考

えるとき、その若者達が受けてきた、小学校から中学校、高等学校での教育が、偏差値という言葉でしめくられるような有名大学への進学のみを念頭においた教育の弊害ではないのだろうかと思えないでしょうか。

ゆとりある教育を標榜する片方で、きびしい受験勉強を強制されて来た反動とは考えられないでしょうか。私達は、小規模な大学ではあります、グローバル化している中で、役立つ外国語をしっかりと身につけていただくために、大学では半年から一年程度の海外協定大学等への留学を奨励し、短大

では海外研修制度の充実を行うことで、実際に外国での生活を体験することをすすめており、世界で活躍する人材を育成できると信じております。

です。

池田学長は、「語学力」と「人間力」の養成を本学の教育目標としている旨前号に書かれておられます。小規模校だからこそ「語学力」の向上にも工夫が可能で、すし、「人間力」の育成にも力がそそげます。

大学受験の現状は、国立及び有名私立大学を目指す学生が多いことは否定できません。しかし、本当に有名大学に進学することだけが、正しいことなのだろうか。一回だけしかない人生をどのように生きるか、何のために生きるかを、大学生生活の四年ないし二年の間に考え、自分なりの結論を出し、しっかりと身につけて卒業することが一番大切なことだと思いませんか。

本学は、そのために保護者の理解と協力を得ながら、学生の意識改革に努め、役員、教職員一丸となって努力するつもりです。簡単ですが、就任挨拶いたします。



長崎外国語大学・長崎外国語短期大学

保護者会発足

この六月二十三日、長崎外国語大学において、保護者会設立総会が行われた。総会には五十八名の保護者に加え、多くの教職員が出席した。委任状は、二百三十六名であった。当初の予定を超えて熱心な討議がなされ、準備委員会が提案した議案が全員の賛成で採択され、長崎外国語大学・長崎外国語短期大学保護者会が初めて正式に発足した。終了後は、学生食堂でささやかに「保護者会設立祝賀パーティー」が開催された。この日は、朝から「二〇〇七年度全学教育・留学・就職等相談会」が行われており、多くの教職員も参加して、保護者と大学との親睦交流が深められた。今後、保護者会の皆様方が、学校・地域・学年の枠を超えて力を合わせ、保護者会の発展に尽くされることを祈るものである。

以下、項目ごとに整理して報告を行いたい。

【設立経緯】一昨年十月と昨年十月

月に行った保護者懇談会での参加者アンケートで、特に昨年のアンケートでは九十%を超える方からの賛同があったことを受けて、二月に設立準備委員会を設置して、五月まで五回にわたり検討を行い、設置に向けて提案が決定されたものである。

【会則】目的、事業及び会費が最も大きな課題であった。目的は、保護者会の位置づけをどう考えるかという観点について意見が出た。最終的には、保護者会が大学と連携して学生を育てていくという立場から学生支援を柱におくことで一致した。「事業」の内容は、この目的を踏まえた項目を整理して収まった。最後に残ったのは「会費」の額の問題であった。事業の内容と予算の中身とも密接につながるもので、最も議論が集中した議論の中で、学生支援を柱に置くとした目的に鑑み、学生奨励金制度の創設、課外活動支援等を行うには、会費は一万円が妥当との意

長崎外国語大学・長崎外国語短期大学 保護者会会則 (抜粋)

(目的)

第1条 本会は、長崎外国語大学及び長崎外国語短期大学(以下「大学」という。)の学生の教育及び福利厚生に関する事業を支援し、大学との情報交換、会員相互の親睦を密にし、もって大学等の発展に寄与することを目的とする。

(事業)(抄)

- 第3条
一 大学の課外教育及び課外活動の支援。
二 学生の福利厚生に関する事業に対する支援。
三 学生生活全般にわたる大学との情報交換。
四 正会員相互の親睦、情報交換、研修等に関する事。
五 その他、大学の教育の発展に寄与すると保護者会が認めた事業に関する事。

(会員)

第4条 会員は、正会員と賛助会員とする。
一 正会員は、大学に在籍する学生の保護者又はこれに準ずる者
二 賛助会員は、上記以外の者で保護者会の目的、事業に賛同する者で、理事会が承認した者

(会費)

第11条 正会員の会費は、年額10,000円とし、各年度(春学期)の学生校納金に加えて納入するものとする。
2 賛助会員の会費は、年額5,000円とし、年度当初に納入するものとする。
3 既納の会費は返還しない。

附 則

1 この会則は、2007年6月23日から施行し、第11条第1項の規定は、2007年4月1日以降の新入会員から適用する。

見に全員一致で集約された。

【二〇〇七年度事業計画】会則の目的及び事業の条項を基に、二〇〇七年度における事業計画が立てられた。

【予算】収入の基本となる会費が一万円と設定されたが、今年度に限って自主納付となる会費の完全納入(「全員加入」)について様々な意見が出された。最終的には、学生支援を柱として会費のほとんどが学生に還元される保護者会の設立目的を強く訴えることで完全納入を実現していくことが申し合

わされた。

併せて、賛助会員については、教職員に広く呼びかけて参加を勧めていくことが確認された。

支出については、学生支援を強く打ち出した内容とする事で、各項目ごとの予算が設定された。この中で、現在五地区に分かれて開催されている地区別保護者懇談会を参加者の負担軽減と保護者会の活動の一環として取り組んでいくため、支援費が盛り込まれた。詳細は別表のとおり。

【学生奨励金制度】保護者会の学

生支援を制度として確立するために「学生奨励金制度」が創設された。これは、学習奨励、スポーツ奨励、社会貢献等の分野において功績・貢献があった場合、大学内の学生奨励金制度と連携して、学生支援を行うものである。予算上も全体の約四十%を占めており、学生支援に対する保護者会の大きな決意が示されている。

【役員】準備委員会を設置する段階から人選は困難を極めたが、保護者の皆様方の協力があって、無理なく役員の構成が定まった。特に、準備委員会をお願いした方は、全員が役員として残って責任を最後まで果たされた。学年構成、地域構成を考慮した構成となっており、比較的バランスのとれた役員構成となったことは、保護者会を支える力が充実した姿勢の現われとして大きな期待が寄せられている。役員名簿は別表のとおり。

2007年度 保護者会役員名簿

Table with 3 columns: Position (e.g., 顧問, 会長), Name (e.g., 池田 紘一), and Term (e.g., 学 長, 大学4年)

2007年度予算

収入の部

Table with 2 columns: Item (e.g., 会費, 寄附金), Amount (e.g., 5,250,000)

支出の部

Table with 2 columns: Item (e.g., 会議費, 課外活動支援費), Amount (e.g., 20,000)

(文責: 報告: 事務局長土井信義)

旅程管理研修機関

「旅程管理研修」がスタートして



旅程管理主任者（ツアーコンダクター）資格を取得するための国の登録研修機関として、「旅程管理研修」を四月より開講し、集中講座の第二回が終了した時点で十三名の修了者を輩出しました。

国内添乗を行う国内旅程管理コースの修了者が一般のみ八名、海外添乗が可能な総合旅程管理コースの修了者が学生のみ五名、内四名は本学大生です。英語以外の語学を専攻する学生が英語力を問われる総合旅程管理コースに挑

戦する姿は、本学の教育の成果と頼もしく思います。

今年度は五回の集中講座を予定しており、現在申込み受付中の第三回は、夏季休暇中に実施するため学生にも受講しやすく、問い合わせや申込みも増え始めています。

受講した学生に感想を問うと、「面白い」と返ってきます。元々旅行や海外に関心がある学生たちのモチベーションは高く、土曜日曜の研修にも朝

早くから教室に集っており、添乗経験豊富な講師陣の体験談を交えた講義や、基礎研修四日間プラス指定研修四日間、計八日間の密度の濃い時間をともに学ぶ異なる学年の学生同士や一般の受講生との交流は、とても魅力あるものだと思います。

講義の中では笑いをこらえずに困る話もあるそうです。短大で開講している長期連続講座の三十五名もひとりとして遅刻欠席することなく学んでいます。

今後、多くの志ある学生に専門職の資格を得て将来の可能性を広げてもらいたい、と望んでいます。

九州地区大学体育大会参加報告

平成十九年度第五十七回九州地区大学体育大会が六月二十二日から七月十五日にわたり実施されました。本学からはサッカー、バスケットボール、ソフトテニス（男・女）が出場しました。大会出場に先立ち、保護者会からの補助金と本学教職員から寄せられた遠征のためのカンパを各サークルの代表者へ学長から手渡し健闘を祈りました（写

真はその贈呈時の様子）。サッカーは佐賀大学と対戦し、惜しくも一回戦で敗退しました。バスケットボールは東海大学福岡短期大学と対戦し一回戦を突破、二回戦は九州工業大学に残念ながら敗退し、ベスト三十六という結果に終わりました。ソフトテニス部男子は宮崎大学に一回戦敗退、ソフトテニス部女子は大分大学に一回戦敗退しました。強豪

（旅程管理研修機関事務局別所）

「旅程管理研修」スケジュール等変更のお知らせ

旅程管理研修の日程や実施時間等が当初のものから若干変更になっています。詳しくは本学ホームページの「旅程管理研修のご案内」ページをご覧くださいか電話等でお問い合わせいただきますようお願い致します。

旅程管理研修機関「旅程管理研修のご案内」ホームページ
<http://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/ryotei/index.html>
 TEL 095 840 2000 FAX 095 840 2001
 E-mail ryotei@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp



二〇〇七年七月十二日
（学生係）

を相手によく健闘しました。来年はより良い結果を期待したいと思います。

聖書雑感 (三)

小西 哲郎

「求めよ、さらば與へられん。尋ねよ、さらば見出さん。門を叩け、さらば開かれん。」（マタイによる福音書七章七節）

「山上の説教」の有名な一節です（文語訳「一九一七年改訳」、日本聖書協会）。ところでこの聖句が語る「中身」は真理だとしても、その「入れ物」であるこの和訳文は文法的に間違っています。さて、間違いはどこでしょうか？

答えは「さらば」という接続詞。正しくは、ここは「さよ、尋ねよ、門を叩け」の命令に聴き従えよ、という意味（確定条件）だと判ります。そして文語での確定条件は、ラ変動詞「さり」の場合、已然形「され」+「ば」で表されるからです。未然形「さら」+「ば」は仮定条件を表します。

ここから教訓。「御言葉に誤りはなくても、翻訳する人間は過ちを犯し得る。」ちなみにこの間違いをほくに教えてくださったのは、本学のチャペルアワーの時間、チェンバレン富士子先生と慶谷壽信先生でした。感謝。（学院宗教主任）

留学報告



イギリス留学を終えて

英語イギリス文化コース
三年 神島麻梨子

私はイギリスのアングリア・ラスキン大学の一般英語一年コースを受講しました。大学はケンブリッジの中でも街の中心部に位置し、図書館やランゲージセンター、シアター、カフェ、バーなどの充実した施設を持つ、とても近代的なキャンパスでした。イギリスに来たばかりの頃は自分の英語力をどのくらい伸ばせるか心配でしたが、最後の学期には中上級クラスから上級クラスに上がることができました。留学して英語が着実に身につけていることを実感し、とても嬉しく思いました。留学中は他の国からのクラスメイトと仲良くなり、一緒に昼食を食べたり、パブに行ったり、休日にはロンドンに遊びに行ったり、とても充実した日々を過ごしました。ときには不安や悩みを共有し、お互いに励まし合いました。その結果、いろいろな国の友人達と深い信頼関係を築くことができました。そのぶん帰国して離ればなれになるのは本当に辛いことでした。自

分で新しいことを見つけたり、経験したりする楽しさを知りました。ホームステイ先のケンブリッジの街について学ぶだけでなく、ロンドンやパース、コーンウォール、ヨークなどの街を訪れ、さまざまなイギリスの歴史と文化を感じることができました。また、フランス、イタリア、ベルギーなどの他のヨーロッパの国にも足を伸ばしました。どの国もイギリスとは違った魅力を持つており、すばらしい旅をすることができました。日本にいるだけでは味わえない体験をすることができ、とても満足しています。

私はこれからもっと英語を学ばなければなりません。今回の留学は自分が成長する大きなきっかけになりました。異文化を理解することはもちろん、その言語を学ぶことだけでもたいへん意義のあることだと思えました。私はこの留学を支えてくれたすべての人に感謝しています。

刺激的だった留学

中国語中国文化コース
四年 鐘ヶ江 愛

私は大学二年の夏から約一年間中国・北京に留学に行きました。実は私は中国があま



り好きではありませんでした。留学が決まったときもしょうがなく行く、という感じで、中国行きの飛行機の中では不安でたまらず、本当に行きたくないと思っていました。しかし実際に中国で生活をして生活している人と出会い、共に生活していく中で私の中の「中国が嫌い」という意識はあつという間に無くなり、ただただ中国での生活を楽しんでいました。

噂以上に衝撃的だった公共トイレや、ショッピングの値引きの楽しさ、うるさくてちよつとおせっかいな北京の人たち、豪快に笑うおじさんたち、北京語が激しいタクシーの運転手さん、全てが面白くて目新しく、中国での生活は本当に自由で楽しかったです。

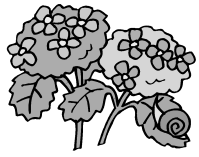
上海、天津、大連、冬には氷祭りに行き、この広い中国を少しでも知ろうと積極的に出かけるようになりました。あんなに嫌だった留学も、帰国時期になるとまだ北京にいたいという思いが強くなり、自分でも驚くほどに中国が好きになっていました。

誰でも留学に対して不安になることはあるでしょうが、何事もやってみなければわかりません。折角のチャンスをお逃さず、是非留学をして皆さんも新しい自分を見つけてみましょう！



アンペロス通信

七夕



7月7日七夕の1週間前より、玄関前に大きな笹が登場しました。ロビーにも可愛い笹が2本と、机、その上には短冊や折り紙、カラフルなペンがたくさん用意されています。またその壁には、彦星と織姫のかわいいイラストの貼り絵が模造紙いっぱい貼られています。

寮生は、書いてくれるでしょうか？子供っぽくてばかりしい.....なんて素通りかな？と、ちょっと心配していた私達がばかみたいでした！学校から帰ってくるとみんなワイワイ、キャーキャー言いながらいろんな願い事を短冊に何枚もかいています。

一人で真剣に書いている子、一生懸命鶴を折ってる子など、みんな夢中です。

なんてかわいいのでしょうか！二十歳過ぎた人もたくさ

んいるので、この表現は失礼だとは思いますが、みんな童心に返り、それを見ている私たちまで自然に笑顔になります。

その日は、夜遅くまでロビーでみんなと鶴や風船を折ったり、誰かが飛行機を作り、飛ばして遊びだすともう大変です。「誰が一番長く飛ばす事ができるかー大会」に変わってしまいます。(笑)その次は、「どっちが上手」と、鶴を両手に差し出してくれます。ホントまだまだ無邪気だなーと微笑ましく、私たちも楽しませてくれました。

ちょっとだけ、笹に飾った願い事を見せてもらうと、成績の事・就職・進路・友達の事などみんな、いろんな悩みや不安もたくさん抱えてもいるし、また恋の悩みや、家族の健康や平和・自然を大切になどをみると、ジェネレーションギャップを感じるこの頃ではありますが、今も昔も変わらないものがある事を、七夕で感じさせてもらいました。

《みんなの願いが叶いますように...》

2007. あんペろす 寮母一同

